

令和5年度 第4回湖西市下水道事業審議会 議事要旨

1. 日 時：令和6年3月18日（月曜日）13:30～14:00

2. 場 所：湖西浄化センター2階会議室

3. 出席者

会長)

愛知大学地域政策学部 教授： 菊地 裕幸 氏

副会長)

静岡大学工学部 教授： 宮原 高志 氏

委員)

有限責任監査法人トーマツ 公認会計士： 今瀬 彰夫 氏

湖西市自治会連合会 会長： 板倉 福男 氏

特定非営利活動法人ママライフバランス 副理事： 大倉 昌子 氏

事務局)

湖西市環境部下水道課

4. 概 要

審議事項

(1) パブリックコメント実施結果

(2) 湖西市下水道事業審議会答申内容の確認

① 資料に対する質疑応答

1. パブリックコメント実施結果
 2. 湖西市下水道事業審議会答申内容の確認
- 1、2に対する質疑応答

委員 パブリックコメントについて、1名からしかご意見をいただけていないことを、事務局としてはどのように考えるか。市民は理解したうえで賛成をしてくれているのか。関心がないのか。

事務局 今回1名の方からいただいたご意見の内容は、下水道事業全般にわたるご提案であり、今後の事業運営の参考にしたいと考える。

 また、下水道事業は市内の限定した区域の事業なので、市民全体が広く関心をもつ事業ではないことは間違えないと思う。

 事務局として、下水道事業について広く市民の方へ知っていただくように今後努力していく必要があると改めて感じている。

② 全体を通したご意見

委員 今回は、各支出や収益等の見直しや組織の在り方等を含めた検討をし、料金体系を変更することなく事業継続できるという見通しがたったことは、良かったと思う。ただし、今回の支出や収益の見直しを計画通り進めるのは相当な努力が必要なことだと思う。料金改定しなくても事業運営できるということが、経営状況が大丈夫と勘違いされてもよくないので、市民の方々には、相当な経営努力をしたうえで料金改定しなくても今回は大丈夫ということと、下水道システムが湖西市の将来にとって価値のあるインフラとして持続可能ということがわかるような広報活動をしていくことが必要だと思う。

委員 前回の経営戦略策定にも携わせてもらったが、今回は料金改定するという予定のところ、料金を改定せず、業務を見直していくという形で経営戦略の見直しを行い、料金収入の増収を見込むことができない中で、まずは、改善・改革できることをしていくということで、様々な案をでていて、他自治体の経営戦略策定に携わることがあるが、今まで見たことのない案もあり、工夫・努力されているなと思った。参考にしたい部分もあった。

 この計画は達成しようと思うとすごく努力が必要であり、収入が増えない中、いかに支出を絞り、効率的にやっていくという点で、厳しい計画になっている。毎年度、決算に対して、経営戦略の取組がどうだったかをモニタリングして、住民の皆さんへ公表し、経営努力をアピールし、下水道へ接続する方が増えていくようなPRを頑張ってもらいたいと思う。

委員 料金改定しなくても済むということは、経営戦略が間違っていないということで大変良いことだと思う。

ユーザーの一人としても良いことだと思っている。

湖西市に住んでから 40 年くらいになるが、はじめに湖西市に来た時は、浜名湖の水が汚かった言うことを覚えている。最近テレビで、浜名湖が映っているのを見て、浜名湖が昔と比べて綺麗になっていると実感した。

綺麗な水を将来にわたり、子や孫世代に享受できるような環境を維持していくためにも、今後も下水道事業を進めていってほしいと思う。

委員 委員を務めることで、身近な人に下水道事業についてどう伝えようかと自分の意識が変わったことが大きかった。

いかに自分ごとにして、必要なこととして意識を向上させるのかが重要だと思う。

今回の経営戦略の内容も相当な努力をされているが、水が流れる当たり前のことも、常日頃から努力されているからだということを知った。環境リテラシーや IT リテラシーというように、生きる術として必要であるということ、サステイナブルや持続可能という言葉があるが、自分が日常何をするのかという部分が市民の生活ではわからないことがあるので、日常でできることは何かということを広げていくことが良いと思う。

知っている、応援する、行動するという段階があるので、行動の前に意識・関心をどう増やしていくのかが大事である。

より確実に市民に届くように広報していただければと思う。

委員 4 回の審議会を経て、今回無事に経営戦略の中間見直し、答申書を取りまとめることができた。これもひとえに、真摯にご議論いただきました委員の皆様、丁寧な資料を作成していただいた事務局の皆様のおかげであり、感謝申し上げます。今回の答申では、職員の皆様は様々な創意工夫をし、努力重ね、料金改定はしないという結論を得ることができました。市民生活を見据えつつ、自助努力で対応していくという姿勢を示していただいたことに心から敬意を示します。

一方で、下水道事業を取り巻く環境は非常に厳しいものがあり、今回、料金改定はしないということになったが、今後も料金改定しないということはまずあり得ないと思う。そういった意味でも、市民の皆様への下水道事業経営の状況の周知や啓発が重要だと思うので、そこを高めてもらいつつ、市民生活と持続可能な下水道事業経営の両立を図っていただくことを期待したい。